

II-8

スマホより「楽しい！！」を探そう

【プログラムのねらい】

- 子供にスマートフォンを使わせる保護者自身の考え方を見つめ直す。
- スマートフォン等に頼らない子供とのふれあいのあり方について考える。

【プログラムの展開例】

時 間	進 め 方	準 備
10分	▶アイスブレイキング ・ 仲間で交流する遊びを行い、参加者のリラックスした雰囲気作りをする。 （4～5人のグループをつくる ※参加者の実態による） ・ 他者の意見を否定しない、秘密は守るなど、グループのルールの確認と本日の活動の目的を明確にする。	平成22年度版学習プログラムのP2「アイスブレイキング各種」参照
35分	▶Work ① エピソードを読み、近くにいる親子の姿を見たまさ子さんの気持ちを考え、グループで話し合う。 ② 自分がまさ子さんの立場だったら、自分の子供に対してどのようなことをして待ち時間を過ごすかを考え、グループで話し合う。 【ポイント】 ・ スマートフォンを使うことに肯定的な意見が出ても、それを一方的に否定する話し合いにならないようにしたい。（スマートフォンも使い方、使わせ方次第であり、過ごすための手段の一つである。） ・ 自分自身の経験も話せるようにしたい。 ③ Work②で出し合った内容や資料を参考にして、ひとときの時間を子供と過ごすための工夫をグループ内で体験する。 【ポイント】 ・ スマートフォンやタブレットによらなくても、工夫次第で簡単に子供と楽しい時間を過ごせることを実感させたい。	ワークシート 筆記用具
15分	▶グループ発表、まとめ、振り返りシート ・ Work②や③で出された工夫について全体で発表・紹介する。 ・ 各自で自分が子供に対して生かせそうなこと、気づいたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。	※ホワイトボードや大きな紙に、発表・紹介された内容を書き、共有してもよい。 振り返りシート